

令和4年度

# 校長室だより2月号 No.10

宝達志水町立押水第一小学校 R5.2.9

## 「立春」を迎えて ～心の中の鬼を追い出しましょう～

令和5年も1ヶ月余りが過ぎました。今年の大寒は1月20日から2月3日となっていましたが、その暦通り10年に1度と言われる寒波が襲来し、大雪および断水の影響で2日間の臨時休校措置もとられました。保護者の皆様にはいろいろとご対応いただき誠にありがとうございました。

さて大寒が終わった翌2月4日が「立春」でした。春とは言ってもまだまだ寒い日が続いていますが、雪の下・地面の中では動植物たちが、新しい季節に向けて命の輝きを放つ準備を着々と進めています。その冬から春への境目を日本の暦で「節分」としています（今年は3日が節分でした）。

節分の日には豆をまいたり、恵方巻を食べたりするご家庭もあったことと思いますが、なぜ節分に豆をまくかという、それは病気や災害を鬼に例えて、悪い鬼が来ないように願ってまくとされています。そして「鬼は外」「福は内」というかけ声は、自分の心の中で「けじめ」をつけるためのかけ声であるとの見方もあります。「けじめ」とは守らなければいけない区別、心のスイッチの切換のことです。「善は善」「悪は悪」と行動の是非を判断していくことも「けじめ」ですし、「今は何をすべきときか」を自覚して行動していくことも「けじめ」です。授業中は一生懸命勉強する。遊ぶときは一生懸命遊ぶ。話を聞かるときは一生懸命聞く。1つ1つにけじめがついていると、時間を大切に使うことができ、たくさんの方が自分の力となっていくのではないのでしょうか。人間は誰しも多かれ少なかれ、弱い心の部分を抱えているものですが、その弱い心という鬼を、節分の豆まきのようにこれからも追い出していきたいものです。

押水第一小学校の子ども達は「けじめ」をつけることができる素敵な子ども達ばかりです。今年度も残り2ヶ月となりましたが、けじめのある生活をこれからも心がけ、楽しく元気な毎日を過ごしてほしいと思っています。



## なわとび集会がありました

2月7日（火）になわとび集会がありました。冬季の体力づくりの一環として、個人の短なわとびは12月から、縦割りグループ毎の長なわとびや8の字とびは1月から、それぞれ練習を重ねてきました。

短なわとびでは、低中高学年別に赤白対抗で、両足とびおよびあやとび（低学年）、二重とび（中高学年）で得点を競い合いましたが、白熱した対戦となり、赤組・白組まったくの同点となりました。

後半の長なわとび・8の字とびでは、縦割りグループ毎で競技をしましたが、どのグループも高学年が上手に低学年をサポートし的確にグループをまとめているところがとても素晴らしかったです。

最後に名人に認定された児童が模範演技として、高速二重とびやはやぶさ、三重とびなどを披露しましたが、難易度の高い技に感嘆の声が上がり、全校児童の今後のよい目標となりました。



# 教職員アンケート結果

先月、学校評価の保護者アンケートと児童アンケートの結果を見ていただきました。以下は押水第一小学校教職員の自己評価アンケート結果です。コロナ禍でもあり、12「外部人材の活用」15「保小連携・小中連携」の肯定的回答の割合が低かったのですが、次年度5月以降コロナ対応のあり方も変わってくることも考えられますので、状況を見ながら改善していきたいと思います。

学習指導の共通実践につきましては、64「活用力をつけるための適用問題」65「学びのふり返り」で肯定的回答の割合が低かったです。学んだことを活かしたり、自分はどこまでできるようになったのかを自分自身でふり返ったりする力は今後ますます重要となってきますので、共通実践としてしっかりと取り組んでいきたいと思います。

	番号	評価の観点	肯定的回答の割合		番号	評価の観点	肯定的回答の割合	
確かな学力の育成	1	朝学習やドリルタイムでは提案された内容を計画的に実施している	100%	新学習指導要領の完全実施	33	道徳の授業の充実を図っている	100%	
	2	ロードマップに沿った学力向上対策を実施している	100%		34	外国語の学習に積極的に取り組んでいる	88%	
	3	ゴールの姿をイメージして授業している	100%		35	GIGAスクール構想の実現に向けて積極的に実践を積み重ねている	89%	
	4	授業や補充学習等で、一人一人の様子を見取り、対応している	100%		36	ICTを活用した授業やその他の活動に取り組んでいる	100%	
	5	少人数の利点を生かし、充実した個別指導を行っている	100%		育若手	37	若手育成プログラムは計画的に実施されている	100%
	6	家庭学習の内容や仕方を指導している	89%			38	日常的OJTが若手の教育実践に活かされている	100%
チーム学校力の充実	7	校内研修会やOJTが計画的に行われている	100%	校務分掌に関する項目	39	読書活動を推進し、読書量増加につなげているか	88%	
	8	OJTは職員の力量アップにつながっている	100%		40	アンテナを高くし、児童の変化を見取り適切に対応している	100%	
	9	専門性を生かしたOJTが行われている	100%		41	生徒指導主事を中心とした組織的な対応が取られている	100%	
	10	役割と責任を完結できるように校務の運営を行っている	100%		42	いじめを生まないために、児童相互のよりよい人間関係づくりに努めている	89%	
	11	自分の校務に関する効率化を図っている	100%		43	生活目標に対して、具体的な取組をしている	100%	
	12	外部人材を活用している	67%		44	挨拶や言葉遣いについて指導している	100%	
	13	短時間で能率的なスタッフ会議を行っている	100%		45	食育を行い、給食指導をしている	100%	
	14	改善意識をもち、計画・実施・反省により次回につなぐ学校運営に参画している	100%		46	清掃指導をしている	100%	
	15	保育所・小中学校・高校の連携が図られている	56%		47	体育の授業や対外行事等で児童の体力向上に努めている(1校1プラン スポチャレ)	100%	
	16	管理職への報連相の徹底を意識して行っている	100%		48	養護教諭を中心に児童の健康管理や健康づくりのための取組が行われている	100%	
	17	全職員が助け合い・連携し合いながら協働的に仕事をしている	100%		49	支援を必要とする児童のニーズを共通理解し、職員全員で対応している	100%	
	18	PDCAサイクルを意識した学校運営が行われている	100%		50	生徒指導や特別支援教育の充実のため、児童理解の会や支援委員会は機能している	100%	
	19	学校評価をもとに学校改善にむけた取組が行われている	100%		51	危機意識を持ち安全点検や研修会を行い、有事に備えている	100%	
	20	校内研修(学校研究含む)は授業改善や教師の力量の向上につながっている	100%		52	様々な災害に対応するための避難訓練が計画的に行われている	100%	
21	職員は意欲的に校内研修に関わっている	100%	53	児童は目標を意識し、その達成のために努力している	100%			
22	時刻を区切り、適正な勤務時間としての働き方ができている	100%	54	児童は授業や行事等の取組を通して、自己肯定感や自己有用感が高まっている	100%			
23	適正な勤務時間で働くことができる環境を整えている(取組 方策 環境整備 等)	100%	55	児童は自分の役割に責任を持ち活動している	89%			
家庭・地域との連携	24	学級だより等を通して学校や学級の様子を知らせている	100%	共通実践の定着度	56	体験・交流活動を通して、児童の心は育っている	100%	
	25	ホームページの更新により情報発信が行われている	100%		57	児童の興味・関心・意欲を引き出す問題提示をすることができた	89%	
	26	家庭や地域からの声を適切に受け止め、学級や学校の運営に生かそうとしている	100%		58	問題文中の、聞かれていること、分かっていることに線を引かせることができた	100%	
	27	地域や地域人材の学習資源を生かした活動を行っている	89%		59	毎時の課題を、児童とともに作り上げることができた	100%	
28	保護者との連絡を密にし、保護者との信頼関係を築くよう努めている	100%	60		自力解決をする際は、考えの根拠(自分の経験 叙述 図 表、グラフ、写真・絵、実験結果など)となるものを挙げさせることを指導できた	100%		
29	児童の地域等(PTA活動 地域行事)への参加を呼びかけている	86%	61		ねらいを明確にした対話を取り入れることができた	89%		
高まる表現力が	30	学習内容を発表することを想定した授業づくりをしている	100%		62	全体交流の際に、児童にナイスな聞き方・話し方をしよう指導できた	89%	
	31	全校や保護者、地域の場で表現する活動を設けている	100%		63	課題に合ったまとめを考えるよう、児童に指導できた	100%	
	32	授業や各活動において、相手意識を持った表現活動ができるように指導している	100%		64	適切な場で、適用問題を設定することができた	67%	
					65	毎時間、ふり返りの時間を設定することができた	56%	

## 学校評価・保護者アンケートの記述欄について

12月に実施させていただきました後期学校評価の保護者アンケートでは、前期に引き続き、記述欄にて、学校経営・学校運営や各職員に関して、ねぎらいの言葉や励ましの言葉を種々いただきました。誠にありがとうございます。寄せられた学校への質問・要望等につきまして、以下に回答させていただきます。

- Q. 授業参観では、講習会ではなく子どもの普段の授業の様子を見たいです。
- A. 1月の授業参観は、情報モラル教育の一環として、講師のNTTの方の話をもとに各学級で保護者の方にも入っていただいて話し合う形とさせていただきました。学校の意図としましては、1人1台端末の配備等、児童にとってインターネットの世界がますます身近となってきている昨今において、ネットに潜む危険性や安全に使っていくための方策をぜひとも共有していただきたいとの思いでしたが、「授業参観では子どもの普段の授業の様子を見たい」というご指摘は、まったくその通りと存じます。次年度以降、通常の授業参観の機会も確保しつつ、必要に応じて講習会等もあわせて実施していきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。
- Q. コロナ対策で教室等では常時換気しながら過ごしていると思いますが、寒い時など教室等で子どもたちにも自由に防寒着を着てもOKにしてもらえませんか。
- A. 冬季に常時換気しておりますので、寒い時は防寒着を着ていただいて構いません。制服を着用して、それでも寒い場合は体調に合わせて着用して下さい。(高学年で卒業を控えて小学校用の長ズボンを購入するのは躊躇われる場合は、中学校で着用する長ズボンでも大丈夫です。)
- Q. 学校は保護者の話を聞くだけで意見を取り入れようとしていないのではないですか。
- A. 保護者の方々からは、ご意見ご要望等を多数寄せていただいております。児童のため、学校をよくしていくためのものであり、本当にありがとうございます。すべてのご意見ご要望に沿うことができず申し訳なく存じますが、今後も率直なご意見等をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

## ○書初め作品（1～2年生）

一年生



二年生



○書初め作品（3～6年生）

三年生



四年生



五年生



六年生



※ 写真は、1月10日から12日までの書初め展で展示したものです。

作品は13日に児童が見守る中、さらなる上達を願って、左義長で燃やしました。